

平成28年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会 青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	130,805,485円 ※平成24・25年度 127,172,000円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的室、研修室(4)、音楽室、和室、クラフト室		

●利用状況

	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期
利用者数(単位:人) 団体数(単位:団体)	10,960 274	17,819 573	11,988 283	18,535 604	11,284 286
開所日数(単位:日)	138	161	137	162	136
団体利用可能日数(単位:日) ※1	136	160	133	162	132
団体利用実績日数(単位:日)	126	160	128	162	128
施設稼働状況(単位:%) ※2	92.6	100.0	96.2	100.0	97.0

※1 【開所日数】-【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則を遵守している。 ②指定管理者仕様書に基づき、適切な人員配置、管理を行っている。 ③ホームページ、パンフレット、チラシ等による広報活動のほか、出前講座等を通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行っている。 ④迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業 自主事業	○受入事業を実施 ○下記主催事業を実施 ①家族対象事業 ②子ども対象事業 ③市民対象事業 ○下記自主事業を実施 ①「自然体験ミニイベント」 ②「三輪北文化祭」への事業協力(地元への事業協力)	○受入事業 ※カッコ内は対前年度比 ・254団体8,398人を受け入れ(3団体17人増) ○主催事業 ①4事業9回に111家族387人が参加 ②1事業1回に39人が参加 ③1事業1回に2,039人が参加 ○自主事業 ①1事業3回に54人が参加(12回834人減) ※11月下旬から3月上旬まで「多目的ホール」の吊り天井工事のため、開催不能となったため。 ②自然の家コーナーに98人が参加

<p>指定事業 自主事業</p>	<p>○研修・啓発事業を実施</p> <p>①「自然体験活動実技研修会」</p> <p>②「ボランティアスタッフ研修会」</p> <p>③出前講座の実施</p> <p>④自然情報の発信</p> <p>○研究・開発事業を実施</p>	<p>○研修・啓発事業</p> <p>①1事業5回に20人が参加</p> <p>②1事業1回に23人が参加</p> <p>③出前講座:12回に424人が参加</p> <p>④下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然の家だより」「季節の散策マップ」の発行 ※詳細は別紙③、別紙④のとおり ・岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」への投稿 <p>○研究・開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座用の活動メニューの開発 ・各種職員研修の実施 ・周辺の動植物調査及びデータ収集 ・「自己課題」への取組み
<p>施設管理</p>	<p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②ハチの巣調査、駆除</p> <p>③空気環境測定</p> <p>④水質検査</p> <p>⑤飲料水貯水槽清掃点検</p>	<p>①【日常】開所日は毎日実施 【定期】12月・3月に実施</p> <p>②10月に実施</p> <p>③11月・3月に実施</p> <p>④2月に実施</p> <p>⑤2月に実施</p> <p>※ほか仕様に基づき適正に実施</p> <p>職員による施設点検(整備)</p> <p>【館内外点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の退所時 ・休所日前、休所日後 <p>【キャンプ場】【散策道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の入所前、荒天後
<p>施設修繕</p>	<p>①迅速な修繕の実施</p> <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施</p>	<p>①迅速な修繕の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常点検で正面玄関ドアの開閉異常を確認 ⇒ドアの破損箇所(フロアヒンジ)の部品を交換 ・スイッチを強く押しすぎて、中に入ってしまったと連絡 ⇒すぐにネジを取り外し、型枠をつけ直して修復 <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花壇の製作・設置 ・ゴミ置き場の修繕 ・炊事場テーブル補修 ・炊事場の電気設備清掃・交換 ・イノシシ被害による整地等 <p>※詳細は別紙⑤のとおり</p>
<p>危機管理・ 法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護体制について、窓口やホームページで公開している。 ・個人情報保護担当者を配置している。 ・「個人情報保護研修会」を実施している。 <p>②下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種安全マニュアルの見直し、改善を図り、適切にその運用を行っている。 ・ウォークラリー、オリエンテーリングのコース点検、巡回を適切に行っている。 ・消防訓練、防火設備等の管理を適切に行っており、継続して「表示マーク(銀)」の交付を受けている。 <p>③下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家条例施行規則等、関係法令を遵守している。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○受入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者アンケート」…すべての利用団体を対象に実施 ・質問内容:「利用全般」「職員の対応」など ・「野外学習アンケート」…利用した小学校(抽出)を対象に実施 ・質問内容:自然の家の3つの願いの達成度 ※詳細は別紙②のとおり ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施 <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」…すべての主催事業で実施 ・質問内容:事業の満足度、自然の家の3つの願いの達成度など ※詳細は別紙②のとおり ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○受入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 ①回収枚数 92枚 ②各項目の満足度・主な意見 <p>「利用全般」(98.8%):大変満足66.3% 満足32.6% 普通 1.2% 不満 0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「施設・設備」(93.4%):大変満足53.8% 満足39.6% 普通 5.5% 不満 1.1% 大変不満0.0%</p> <p>「職員の対応」(98.9%):大変満足83.7% 満足15.2% 普通 0.0% 不満 1.1% 大変不満0.0%</p> <p>「食堂の食事」(85.0%):大変満足50.0% 満足35.0% 普通10.0% 不満 5.0% 大変不満0.0%</p> <p>内訳</p> <p>【初回利用団体】9枚</p> <p>「利用全般」(100.0%):大変満足62.5% 満足37.5% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「施設・設備」(77.8%):大変満足55.6% 満足22.2% 普通22.2% 不満 0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「職員の対応」(100.0%):大変満足77.8% 満足22.2% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「食堂の食事」(42.9%):大変満足28.6% 満足14.3% 普通42.9% 不満14.3% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回利用団体】83枚</p> <p>「利用全般」(98.7%):大変満足66.7% 満足32.1% 普通 1.3% 不満 0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「施設・設備」(95.1%):大変満足53.7% 満足41.5% 普通 3.7% 不満 1.2% 大変不満0.0%</p> <p>「職員の対応」(98.8%):大変満足84.3% 満足14.5% 普通 0.0% 不満 1.2% 大変不満0.0%</p> <p>「食堂の食事」(89.0%):大変満足52.1% 満足37.0% 普通 6.8% 不満 4.1% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な知識で子どもたちの興味・関心を高める説明で楽しかったです。 ・どんな些細なことでも相談にのってくださり、丁寧にアドバイスをしていただき有り難かった。 ・職員の細かい気遣いのおかげで、温かい雰囲気です1/2成人式をすることができました。 ・給食費を上げてでも、もう少し食事を良くしてほしい。 <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 <p>■ファミリーDAY 防災キャンプ編(対象:家族 1日 10/30)</p> <p>①回収枚数 22枚</p> <p>②事業の満足度・主な意見</p> <p>【初回参加】14枚</p> <p>「満足度」(85.7%):大変満足42.9% 満足42.9% 普通14.3% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】8枚</p> <p>「満足度」(100.0%):大変満足75.0% 満足25.0% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難者同士、協力することの大切さがよく分かりました。 ・避難者とはいえ、積極的に行動する必要があると思いました。 ・助け合いや譲り合いの大切さがよく分かりました。 <p>■ファミリーステイI(対象:家族 日程:1泊2日 11/19～20,26～27,12/3～4)</p> <p>①回収枚数 31枚</p> <p>②事業の満足度・主な意見</p> <p>【初回参加】19枚</p> <p>「満足度」(100.0%):大変満足78.9% 満足21.1% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】12枚</p> <p>「満足度」(100.0%):大変満足75.0% 満足25.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然散策では、野外を散策するだけでなく、各ポイントで楽しめて良かったです。 ・時間配分が適当で、内容が子どもにもあっていてちょうど良かった。 ・職員やボランティアスタッフの方々のおかげで、2日間子どもと一緒に楽しむことができました。

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>■ 自然は友だちキャンプ 冬遊び隊(対象:子ども 日程:1泊2日 1/21~22)</p> <p>①回収枚数 38枚 ②事業の満足度・主な意見 【初回参加】 4枚 「満足度」(100.0%) 大変満足100.0% 満足 0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回参加】 34枚 「満足度」(94.1%) 大変満足 82.3% 満足11.8% 普通5.9% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒い中だったけど、キャンプファイヤーが楽しかった。 ・今回の経験はどこでも活かせるので、学校でも活かせるようにしたいです。 ・今度はもっといろんな人とふれ合って、自然のことを知りたいです。 <p>■ ファミリーステイⅡ(対象:家族 日程:1泊2日 1/28~29,2/4~5,11~12)</p> <p>①回収枚数 17枚 ②事業の満足度・主な意見 【初回参加】 7枚 「満足度」(100.0%) 大変満足85.7% 満足14.3% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回参加】 10枚 「満足度」(100.0%) 大変満足50.0% 満足50.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前に参加した時は自分(子ども)で配膳できなかったが、今回は自ら進んで行っていた。 ・テレビがなくても平気で、どのプログラムも大人も子どもも楽しめた。 ・子どもの野外学習のための練習となって、少し安心につながりました。 <p>■ ファミリーDAY スターウォッチング編(対象:家族 日程:半日 2/25,26)</p> <p>①回収枚数 37枚 ②事業の満足度・主な意見 【初回参加】 20枚 「満足度」(90.0%) 大変満足55.0% 満足35.0% 普通10.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回参加】 17枚 「満足度」(94.1%) 大変満足76.5% 満足17.6% 普通 5.9% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段なかなかできない貴重な体験を、家族でできたので良かったです。 ・五平餅作りや星空観察は、どちらも家庭でできることなので、大変たのしく活動ができました。 ・双眼鏡で綺麗な星が見られて良かったです。
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>○ 受入事業 意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ会等で、施設としての考え方を説明している。 利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。</p> <p>《主な意見と対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプファイヤーが一気に燃え上がる場所を見るために、点火は組木の下にすべきだった。 ⇒組木が早々に崩れ落ちてしまう可能性が高いため、自然の家では組木の上から点火するように指導している。 ・特に指導者が入浴する時、シャワーが水しか出なかった。 ⇒お湯が出るまでに少し時間がかかることを入所時のオリエンテーションで説明しているが、夜の打合せ等でも宿直職員から改めてお伝えするようにする。 <p>○ 主催事業 意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、必要に応じて各事業の「終わりの会(全体会)」で、施設としての考え方を説明している。 事業全般に関わる内容については、係会、所内経営会議、職員会議を通して検討を重ね、次回事業のよりよい運営に活かしている。</p> <p>《主な意見と対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の利用者の入浴マナーが悪い。 ⇒参加者については、はじめの会で入浴マナーについて注意するとともに、同泊団体についても入所時の受付などで説明を行い、入浴マナーの向上に努めた。 ・ごはんの配膳量がスタッフにより異なっていたため、最後足らなくなったので改善して欲しい。 ⇒担当者に前もって目分量を伝えるとともに、茶碗等で目安を確認できるよう配膳方法を改善した。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等 利用が確保 されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①利用調整委員会を開催し、利用調整を行っているか。 ②主催事業において、幅広い市民への参加の機会と周知を図っているか。	SS	SS	SS
		(2)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	障がい者を含め幅広い層の利用を促すため、ソフト面での配慮を推進しているか。	S	S	S
		(3)情報公開、広報の方策	市内小中学校、市内少年団、当年度利用諸団体に対する次年度への呼びかけ及びホームページ等も含めた紹介・啓発をしているか。	S	S	S
		(4)個人情報保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	S	S	S
		区分評価				
効果性	II 事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものである こと	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮すること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	「岐阜市少年自然の家運営方針」のとおり「ほほえみ、なかま、自然」を大切に施設運営をしているか。	S	S	S
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	主催事業等の活動プログラムの改善を図っているか。	SS	SS	SS
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・団体に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	S	S	S
		(4)利用者に対するサービス向上の方策	利用団体の活動に対し、可能な限り職員を配置し、適切な指導・援助を行っているか。	SS	SS	SS
		(5)利用促進、利用者増の方策	利用者の少ない冬季を含め、事業の充実等により利用の促進に努めているか。	S	A	A
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	利用団体の活動に合わせ、必要に応じ宿直、夜勤、通常勤務、週休等を割り振り対応しているか。	S	S	S
区分評価					S	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	III 事業計画書 の内容が、 管理経費の 削減が図ら れるもので あること	(1)『事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	利用者の安全を第一に考え必要経費に優先順位をつけ、管理的経費の削減に努めているか。	A	A	A
		(2)指定管理経費の設定額	収支予算書との妥当性はどうか。	A	A	A
		(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの削減に努めているか。	S	S	S
		(4)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(5)管理経費削減の具体的方策	事業・活動の目的の範囲内で引き続き経費の削減に努めているか。例えば啓発紙等印刷物は可能な限り、電子メール等電子媒体を取り入れているか。	S	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	施設の性質上、不規則勤務にならざるを得ないが、宿直勤務は可能な限り必要最低限とし、無理のない勤務体制としているか。	S	S	S
区分評価					A	

安定性 安全性	IV 事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	(1)『事業計画書に沿った管理を安定して 行う物的能力、人的能力を有していること』 に対する基本的な考え方(理解度、取組 姿勢など)	職員は行政計画、教育指針等を常に把握して野外活動に 取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連する 事業、業務などの実績	類似施設等の管理実績を参考にしてしているか。	S	S	S
		(3)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門 的能力を有しているか。	S	S	S
		(4)組織及びスタッフ(採用予定者も含む) の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知 識など	小・中・高・養護各教諭免許、社会教育・社会福祉各主事 資格、防火管理・危険物取扱各免許など専門知識や経験 が活かされているか。	A	A	A
		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、 監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務し やすい職場環境ができてしているか。	A	A	A
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人材育 成の方策	経理・文書・施設管理・里山の自然等業務についての基本 知識の他、個人情報保護・安全衛生・救命救急・接遇・人 権等の研修が行われているか。	A	A	A
		(7)リスクへの対応方策(防止策、非常時 の対応マニュアルなど)及び対応能力(資金 力、損害賠償能力など)	野外活動エリアの安全点検・館内外の巡回・消毒清掃・衛 生指導・避難訓練等を実施しているか。非常時の対応が確 認されているか。	A	A	A
		(8)学校及び教育委員会との連携	学校や教育委員会との連携がなされているか。	A	A	A
	区分評価					A
貢献性	V 事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」と いう。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもの であること	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるい は施設がある特定の地域(以下、「地元」と いう。)の振興、活性化などに貢献できるも のであること』に対する基本的な考え方(理 解度、取り組み姿勢など)	市の方針に基づいた計画で、地域の振興・活性化に貢献 する計画となっているか。	S	S	S
		(2)地元の法人その他の団体の育成(一部 業務の再委託先)	地元の法人その他の団体との連携に努めるとともに、その 育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(3)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇 用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元 の住民等の雇用に留意しているか。	S	S	S
		(4)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意して いるか。	S	S	S
		(5)その他地元への貢献に関すること	地元で実施される社会活動等への、積極的な参加に努め ているか。	S	S	S
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

(I-(1)-①)

- 各団体の次年度の利用日については、小中学校や青少年団体等の代表者を委員とする「利用調整委員会」を開催し、「**利用調整原則**」に則り、**公平性・透明性に十分留意しながら調整作業を行った。**

《調整作業における重点》

- 希望が集中する時期は、必要に応じ、**休所日を臨時開所**して、各団体の希望にできる限り応えた。
- 各団体の主たる活動や配慮事項等を十分に把握し、**きめ細やかな調整**を図った。
- 活動場所、宿泊室等の割振りは、各団体の指導者の理解を十分に得ながら調整を図ることができた。
- 各団体から当施設が直接管理運営していないスポーツ施設の利用希望があった場合も、関係機関との連絡を密に行い、円滑に調整を図ることができた。なお、**利用調整に関わる内容について、利用者から公平性・透明性を欠くといった指摘は、一切受けていない。**

(I-(1)-②)

- 主催事業の募集については、チラシやホームページ、「広報ぎふ」、ラジオ、雑誌等、各種媒体を積極的に活用し、幅広く市民に周知を図った。また、**当施設の利用者はもちろんのこと、数多く実施している出前講座などを通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行った。**

(I-(2))

- 幅広い層に対応したプログラムの提供と職員の支援体制**

《具体例》

- 幼児向けクラフトメニューの拡大⇒クラフトメニューの一部を幼児でもできるように改良(工程・材料など)
- 高齢者向け自然散策⇒季節に応じて野草や樹木等の資料を準備し、職員が案内をしながら散策
- 車イスでのウォークラリー⇒舗装された道路を進むコースを設定し提供
- 個別対応⇒全体の活動に怪我や病気等で参加できない方には、個別のプログラムで対応
- 事前学習(事前体験)への対応**
利用当日の安心につながるよう、事前学習の希望に対し、親切・丁寧な対応に努めた。
《事前学習(事前体験)の対応例》
 - 「基本的な生活は、自分でできるようにしておきたい」
⇒事前:職員が手本を見せながら、手洗い・消毒、ベットメーカーキングなどを練習
 - 「屋外で車イスがどの程度使用できるか知りたい」
⇒事前:職員が案内しながら施設周辺を散策
 - 「幼稚園児の利用なので、少しでも施設に慣れておきたい」
⇒事前:職員と共に館内を探検する活動を体験

(I-(3))

- 次年度の呼びかけを確実にを行うため、当年度利用された団体(または利用予定の団体)及び新規に利用を希望する団体に対して、「**利用希望調査報告書**」(希望時期の記入用紙)を送付した。
- ホームページや館内掲示などにより、施設概要・事業内容・主催事業の募集・冬季の空室状況・自然情報等の内容をわかりやすく紹介した。
- 「自然の家だより」を定期的に発行したり、岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」へ積極的に投稿したりするなど、身近な自然や自然の家の活動への関心を高めるための情報発信に努めた。
- 「季節の散策マップ」をファミリーパーク内休憩所に設置し、公園を訪れる多くの市民に活用された。

(I-(4))

- (公財)岐阜市教育文化振興事業団「個人情報保護規程」、「個人情報保護宣言」及び関係法令を遵守し、個人情報保護に取り組んだ。
- 「**個人情報保護宣言**」、「**公表事項等に関するご案内**」をホームページに掲載するとともに、受付窓口に掲示し、**利用者の信頼度、安心感を高めた。**
- 個人情報保護担当者を配置するとともに、「個人情報保護研修会」を実施し、職員への周知徹底を図った。
主催事業を実施する際は、募集チラシ及び当選通知に、個人情報の利用目的や安全管理に関する事項を明記し、市民への理解を求めた。

(II-(1))

- 受入事業、主催事業において、自然の家の3つの願い「ほほえみ」「なかま」「自然」の達成度を把握するためのアンケート調査を実施した。
- アンケート結果は下記の通りとなっており、**各事業、各項目で大変高い達成度を得ることができた。**

《アンケート結果》

受入事業 :「ほほえみ」91.4% 「なかま」90.3% 「自然」89.4%

主催事業 :「ほほえみ」92.7% 「なかま」91.9% 「自然」95.9% ※詳細は別紙②のとおり

《参考》

- 「ほほえみ」(達成感・自己発見等)
自ら考え、工夫して活動をやりきることで、成就感や達成感を味わわせ、自主的・創造的な態度を養う。
- 「なかま」(協調性・社会性・自立性等)
一人ひとりが役割を果たすとともに、規律を守り、互いに協力して活動することで、仲間を思いやる態度を養う。
- 「自然」(感性・感動・畏敬等)
五感を働かせて自然体験活動に取り組むことで、自然に対する興味・関心を高め、自然に親しむ態度を養う。

今期の取組み
に対する評価

- ・職員は活動エリアでの実地訓練やプログラム開発、動植物調査を長期にわたり継続して行っており、「利用者アンケート」などで、下記の内容が充実しているとの声を多数いただいた。
 - ・**周辺の自然環境を活かしたプログラム**
 - ・**周辺の自然環境と活動内容から予見されるリスク対応**
 - ・**周辺の自然情報の発信**
- (Ⅱ-2)
- ・主催事業では、PDCAサイクルを推進するとともに下記の取組みの成果を生かしながら、**すべての事業でプログラムの改善を図った**。結果、今期実施した**主催事業における事業満足度**(全事業の平均)は、**95.7%**となっており、**参加者から大変高い満足度を得ることができた**。
(※各事業の事業満足度については、「利用者アンケートの実施結果」に記載)
 - 《プログラムの改善に関わる取組み》
 - ・自主的な「プログラム開発研修」の実施
 - ・プログラムの改善に役立つ各種研修会への参加
 - ・動植物調査等、全職員が年間を通して取り組む「自己課題」の推進
 - ・**新規の取組みとして、ファミリーDAY「防災キャンプ編」において、避難所生活の模擬体験を行った。多くの参加希望があり、防災意識の高まりに即した事業を展開することができた**。(※参加者の具体的な声については、「利用者アンケートの実施結果」に記載)
- (Ⅱ-3)
- ・受入事業では、「利用者アンケート」の他、「野外学習アンケート」(小学校を対象とした事後アンケート)を活用し、教育効果や自然の家の3つの願いの達成度の把握に努めた。
 - ・主催事業では、すべての事業で「参加者アンケート」を実施し、次回事業の改善、向上を図っている。
- (Ⅱ-4)
- ・すべての団体のすべての活動に職員を配置し、適切に指導・支援を行っており、特に野外炊事や川での活動には、より安全性を高めるため、複数の職員を配置した。
 - ・天候の急変、サル・イノシシ等の出没情報等に迅速に対応するため、ウォークラリー、オリエンテーリングを実施する際は、コースを巡回する職員を配置した。
 - ・急な活動計画の変更があった場合も、「朝の打合せ会」等で、指導・支援体制の調整を図り、適切に職員を配置した。
 - ・準備段階である「事前打合せ会」や下見等においても、すべての団体に職員を配置し、指導者への適切な指導・支援に努めた。
 - ・**上記の取組みの結果、「利用者アンケート」の記載には、「指導・支援体制が充実している」、「指導・支援の在り方が適切である」といった内容が大変多く見られた。「職員の対応」の満足度98.9%**
(※利用者の具体的な声については、「利用者アンケートの実施結果」に記載)
 - ・宿泊学習への対応と並行し、遠足、社会見学等で岐阜ファミリーパークを訪れる団体に対しても、当施設のプロプログラムを提供し、積極的に指導・支援を行った。
 - ・**出前講座の依頼に対し、参加者数、活動内容などを踏まえ、適切な人員を派遣した。**
- (Ⅱ-5)
- ・11月下旬から3月上旬まで「多目的ホール」の吊り天井工事のため、多目的ホールが使用できず、主催事業や自主事業において利用人数が減少した。利用受入れでは、多目的ホールを使用しない団体を積極的に受け入れることで昨年度を上回ることができた。全体としては利用人数が減少しているため、評価としてはSからAとした。
 - 《利用促進のための主な方策》
 - ・「自然の家だより」(別紙③のとおり)、ホームページ、「広報ぎふ」、ラジオ、雑誌等、各種媒体を幅広く活用する。
 - ・出前講座や事業協力を数多く実施し(別紙①のとおり)、他施設の利用者に直接呼びかける。
 - ・冬季の平日に利用可能な団体を調査し、効果的な活動プログラムを提案する。
- (Ⅱ-6)
- ・職員の勤務(通常勤務、夜間勤務、宿直勤務)の割振りについては、下記の内容に留意し、施設の効用(設置目的)を最大限発揮できる体制づくりに努めた。
 - 《受け入れ事業に関わる勤務割振りの留意点》
 - ・**入所から退所まで、すべての団体のすべての活動に職員を配置すること**
 - ・**野外炊事や川での活動などには、より安全性を高めるため、複数の職員を配置すること**
 - ・**ウォークラリー、オリエンテーリングを実施する際は、コースを巡回する職員を配置すること**
 - ・天候等の理由による大幅な活動計画の変更にも対応できる柔軟な体制づくりを行うこと
 - ・宿泊団体のある場合、防災、防犯の観点から必ず宿直職員と警備員(委託業者)を配置すること
 - ・**準備段階である「事前打合せ会」や下見等においても、すべての団体に職員を配置すること**
 - 《主催事業に関わる勤務割振りの留意点》
 - ・**事業担当者は、開始から終了まで、すべての活動に対応できる勤務を割り振ること(泊を伴う事業では、宿直勤務)**
 - ・**すべての事業に養護教諭の資格のある職員を配置すること(泊を伴う事業では、宿直勤務)**
 - ・事業担当者の他、すべての活動に補助的な役割を担う職員を配置すること
 - 《その他の事業に関わる勤務割振りの留意点》
 - ・出前講座や事業協力などを行う際には、参加者数、活動内容などを踏まえ、適切な人員を派遣すること

今期の取組み
に対する評価

(Ⅲ-3)

- ・利用者へのサービスを低下することなく、コストの削減を図るため、(Ⅲ-5)に記載した取組みの他、木材調達のためのネットワーク(木工廃材、間伐材などの無償提供元8カ所)を活用し、調達した木材を多方面に利用した。(下記の主な利用例)

◀調達した木材の主な活用例▶

- ・野外炊事やキャンプファイヤーの薪 ・クラフト材料 ・各種看板の作成 ・散策道の整備

(Ⅲ-5)

- ・業務要求水準の例に示された電子メール等、電子媒体の活用については、特に「自然の家だより」の発行や「ぎふネイチャーネット」への投稿など、自然情報の発信において、積極的に実践した。
- ・比較的大規模な内容も含め、多岐にわたる作業を自前で実施し、大幅に経費を削減した。

◀自前での作業例▶

- ・花壇の製作・設置 ・ゴミ置き場の修繕 ・炊事場テーブル補修
- ・炊事場の電気設備清掃・交換 ・イノシシ被害による整地 ・散策道の整備

※詳細は別紙⑤のとおり

- ・消灯チェックなどの館内巡回を強化し、電気代の削減に努めた。

(Ⅲ-6)

- ・団体が宿泊される場合は、防犯・防災等、安全面の観点から必ず宿直員を配置しているが、宿直員は必要最低限(原則1名)とし、無理のないよう8名の職員がローテーションで担当した。また、宿直員に過度な負担がかからないよう、団体数が多い日や活動対応が多岐に及ぶ日は、夜間勤務の職員をその補助として適切に配置した。なお、夜間の火災、地震等に備えた非常時の対応については、宿直員、警備員、各団体の指導者・引率者が宿泊し、非常時対応マニュアルに基づく体制づくりを行っている。
- ・各職員が計画的に業務を行えるよう、「年間予定表」、「月間予定表」、「週間予定表」を早期に作成し、周知を図った。

(Ⅳ-2)

- ・当事業団で毎月開催している施設長会を通して、関連施設(ドリームシアター岐阜、市生涯学習/女性センター等)の管理実績を参考にしながら、施設運営を行った。
- ・体育館、公園管理者との三者会議を実施し、公園全体の課題や各施設の経費削減に対する取組み、利用者増の方策などについて、意見交流を行った。
- ・11月に愛知県美浜少年自然の家で開催された、東海北陸地区青少年教育施設協議会に2名参加し、類似施設の事業や管理体制などについて、意見交流を行った。

(Ⅳ-3)

- ・当事業団は、昭和63年の設立以来、赤字決算は一度もない。
- ・設立以来、継続して、当施設の管理受託者・指定管理者として業務を行っている。
- ・公益財団法人として、「公益目的事業を行うのに必要な経理的基礎と技術的能力を有している」との公益認定を受けている。
- ・公益財団法人の認定基準(①公益性 ②ガバナンス)を満たすとともに、法人情報の開示及び行政庁(岐阜県)の立入検査等により、事業運営の透明性・適正性を確保している。
- ・物的能力、人的能力、専門的能力については、下記の理由から十分に有していると捉えている。

◀物的能力▶

- ・寝具、食器、机等、館内で日常的に使用する備品については、最大定員(宿泊棟324人)に常に対応できるよう、予備も含め、計画的に購入(または交換、修繕)している。また、野外炊事、テント設置、クラフト等、各種体験活動に使用する備品については、複数の団体が同時に使用すること、団体への対応と並行して主催事業や事業協力、出前講座などを行うことを想定し、十分な個数・量を維持管理している。結果、物的能力に関わる「利用者アンケート」の項目「施設・設備」で大変高い評価(満足度93.4%)を得た。

◀人的能力▶

- ・施設の効用(設置目的)を最大限発揮するため、経験豊富な職員を多数配置し(15名中9名が5年以上の実務経験者)、(Ⅱ-4)に記載した取組みを着実に実行している。結果、「利用者アンケート」では、「どの活動も準備がしっかりできている」、「計画変更等、急な依頼にも対応が迅速」など、人的能力を高く評価する意見・感想が多数見られた。

◀専門的能力▶

- ・(Ⅳ-4)に記載した専門的能力を有しており、「利用者アンケート」では、専門的能力に関わる項目「職員の対応」で大変高い評価(満足度98.9%)を得ており、「子どもたちを惹きつけ、説明がとてわかりやすい」、「指導者へのアドバイスが的確」などの意見・感想が多数見られた。

(Ⅴ-1)

- ・市の英語教育に寄与するため、「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」(市教委との共催)を実施し、当施設のノウハウを最大限発揮した。また、参加定員を160名とした他、前年度の経験を生かした改善を行った結果、アンケートで充実度が99%(昨年度95%)となった。
- ・「ぎふサイエンス・キャンプ」(市教委主催)の受け入れを行い、「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の運営ノウハウを、市教委に伝えるとともに綿密に連携して市の理数科教育に寄与した。
- ・「コンパスキューブ」の考え方にに基づき、コンテンツ・スキルをバランスよく大きくするため、「アクティブ・ラーニング」の充実を念頭に置いた、受入事業、主催事業等を行った。

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>(V-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校、市内青少年団体については、当施設での充実した活動を通して、その育成に寄与できるよう、優先的に利用日の調整を図った。 市内小学校、市内公共施設(団体)に対して、積極的に出前講座や事業協力を行った。(出前講座12回 事業協力8回)(別紙①のとおり) 当施設のノウハウを他施設(団体)でも幅広く活用していただけるよう、「自然体験活動実技研修会」(対象:18歳以上の方)を5回実施した。 公園全体の利用者拡大に寄与するため、各種研修会や「事前打合せ会」を通して、隣接する体育館、ラグビー・サッカー場、「ミワクル広場」等の効果的な活用方法呼びかけた。 岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学等、8大学から多くの学生が施設ボランティアとして参加しており、研修会をはじめ、主催事業、団体対応、施設整備等の活動を通して、その育成に取り組んだ。(平成28年度新規登録者数31名 全体登録者数76名) 体育館、公園管理者との共催で3月に実施したイベント「ファミリーフェア」では、ドリームシアター岐阜、市生涯学習/女性センター等とも連携して事業を行い、各施設(団体)の日頃の活動や取組みを啓発する機会となった。 <p>(V-3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 従事者の雇用に関しては、下記のように地元住民や高齢者、障がい者の雇用に十分留意した。 <ul style="list-style-type: none"> 《当施設及び当事業団の従事者の雇用状況》 <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度当施設職員15名中、87%の13名が岐阜市在住 (参考:地元住民の雇用を原則とする仕様書に基づき、給食委託業者の従事者12名中11名が岐阜市在住) 平成28年度当事業団職員 名中、%の 名が岐阜市在住 平成28年度当施設職員15名中、20%の3名が60歳以上 平成28年度当事業団職員 名中、%の 名が60歳以上 (参考:当事業団の嘱託職員の定年は65歳、臨時職員の定年は70歳) 平成28年度当事業団の障がい者雇用率3.38% (参考:国の定めた障がい者法定雇用率2.0%) <p>(V-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品の購入は、岐阜市内の業者から調達することを原則としており、今期の実績は下記のとおりとなった。 <ul style="list-style-type: none"> 《岐阜市内の業者からの消耗品調達実績》 <ul style="list-style-type: none"> 当施設:61件中、86.9%の53件 当事業団:575件中、96.7%の556件 <p>(V-5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当施設のある三輪地区では、特に下記の取組みを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 「三輪北文化祭」への事業協力 メガソーラーや石田川を活用した環境学習プログラムの推進 公民館等への自然情報の提供 防災キャンプを通じて、三輪北自治会との連携強化 三輪中学校運営協議会委員として地元中学校の運営に関与 三輪中学校2年生職場体験の受入れ(6名) 市内小学校や子ども会などに対して、積極的に出前講座を行った。(出前講座12回) その他、下記の取組みを継続して実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 「こどもスマイルステーション」の設置 岐阜ファミリーパーク及びその周辺の清掃活動 自主的な川原の清掃活動 <p>その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>【所管課の意見】</p> <p>(V-5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元で実施される社会活動等について、H28上半期では、非常に際立って大きいとは判断できない為「S」評価とする。 ⇒今期は、新たに三輪中学校2年生の職場体験を受け入れたり、防災キャンプで三輪北自治会との連携を強化したり、地元の清掃活動にも積極的に参加した。また、引き続きV-5)で記載した通り、地元で実施される社会活動に積極的に参加した。 <p>【指定管理者評価委員会の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食堂の食事について、他の項目と比べて毎回評価が低いので、新しい取組みができると良い。 ⇒食費を上げてでも内容を良くして欲しいという意見が多いこと、開所より28年間一度も値上げをしていないことから、給食費の改定を検討し、次年度より給食費を値上げすることとした。給食費の値上げに応じたメニューの改善、アレルギー対応等を決め、次年度より実施することとした。 出前講座について、魅力ある企画を考え、実績増に努めてもらいたい。 ⇒積極的に出前講座を実施し、今期においては12回の出前講座を行った。毎年依頼される団体も多く、新規のメニューを企画し実施した。今後、出前講座から団体独自での実施につなげていけるよう、段階的に支援の仕方を変え、最終的には団体独自で企画し実施できるよう指導者の育成に当たる。新たな出前講座の受入れと、指導者の育成を図り野外活動の普及に努める。

今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業を通して、3つの願い【ほほえみ・なかま・自然】の具現化を図る。 ・利用団体のねらい、児童・生徒の実態に応じた指導・支援、自然体験・原体験を重視したプログラムの実施 ・3つの願いの達成度：各92%以上 ・ネイチャーセンター機能【より多くの市民のみなさんが施設の効果・効用を享受できる機能】の充実を図る。 ・冬季の利用促進 魅力あるプログラム開発 ・指導者の育成と専任体制の充実 ・市の施策に応じた事業の展開を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「コンパスキューブ」の考え方に基づいた「アクティブ・ラーニング」の充実 ・市の英語教育に寄与するため、「イングリッシュ・キャンプinGIFU」の充実 ・市の科学教育に寄与するため、「ぎふサイエンス・キャンプ」の円滑な受入れ ・経費の縮減とサービスの向上を実現する。 ・既存業務の見直し、事務の簡素化・効率化の意識向上 ・自前で修繕できるものと、業者委託するものを見極め、比較的大規模な環境整備も自前で実施
--------	--

●所管課の意見

- 「指定管理者の選定基準に基づく評価」・「指定管理者の取り組みに対する自己評価」について
- ・「Ⅰ－(1)・(2)・(3)・(4)、Ⅱ－(1)・(2)・(3)・(4)・(6)、Ⅲ－(1)・(2)・(3)・(4)・(5)・(6)、Ⅳ－(1)・(2)・(3)・(4)・(5)・(6)・(7)・(8)、Ⅴ－(1)・(2)・(3)・(4)・(5)」について、「指定管理の取り組みに対する自己評価」のとおりとする。
 - ・Ⅱ－(5)について
多目的ホール改修工事のため、やむを得ないところもあるが、結果として利用者が減少しているため「A」評価とする。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・前回食事のことに言及したが、給食費を上げて内容を充実させていくということで、変化が見られて良かった。
- ・食事に関して、好きなメニュー、嫌いなメニューがあるので、子どもがメニューを選べるような仕組みにできると良い。